

広報



兵庫医科大学



兵庫医療大学



兵庫医療大学(薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)

01 平成22年 年頭の言葉

03 平成22年 年頭メッセージ

05 最近の主な出来事

<兵庫医科大学>

07 第38回兵庫医科大学 大学祭「醫聖祭」

09 大学祭を終えて／学生部長賞 授与

10 平成22年度兵庫医科大学入学試験・大学院入学試験 速報

11 平成21年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭／
中国の汕頭大学医学院留学を終えて

12 クロアチア共和国リエカ大学医学部 交換留学

<篠山病院>

13 BLS講習会 実施／篠山病院整備工事の進捗状況／ささやま探訪

<兵庫医療大学>

14 平成22年度兵庫医療大学入学試験 速報

15 第2回兵庫医療大学 大学祭「海泉祭」

17 海泉祭を終えて

18 就任挨拶／薬学部「医療ユニバーサルデザイン」ゼミ 第9回こうべUDフェアに参加

19 キャリアデザインセンター 第2・3回仕事研究セミナー 開催／
学生相談室イベント 開催

<学校法人兵庫医科大学>

20 規程等の制定・改正／利益相反マネジメント講演会 実施

21 自衛消防訓練(総合訓練)／平成21年度西宮市民文化賞 受賞

22 第2回学校法人兵庫医科大学連携病院の会 開催

23 職場紹介

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

兵庫医科大学篠山病院 整形外科

兵庫医療大学 薬学部(薬剤・薬物動態系)

兵庫医科大学病院 看護部 1号館11階西病棟

27 卒業生紹介

大江 与喜子さん(兵庫医科大学第1期生)

田中 恒雄さん(兵庫医科大学第6期生)

28 Join us! 一課外活動紹介一

兵庫医科大学 バスケットボール部／バレーボール部

兵庫医療大学 バスケットボール部／フットサルサークル



平成22年 年頭の言葉

理事長 | 新家 莊平

幾多の試練を乗り越えて、いよいよ飛躍に向けた行動のときが到来。
平成18年策定の中期事業計画を真摯に見直し、
本年から始まる後半3年間で目標達成に全力をあげたい。

明 けましておめでとうございます。平成22年の年頭に
あたり、謹んで新年のお慶びを申しあげるとともに、
この一年が希望に満ちた未来に夢を馳せる本学関係者一
同にとって、真に有意義な年となることを祈念して、年頭の
言葉を申し上げます。

さ て、かつて本法人が平成6年を「改革元年」と位置
づけ、旧来ろうしゅうの陋習を破りつつ打ち立てた意識改
革・組織改革の旗のもと、全体の改善・活性化に取り組み始
めてから16年の年月が経過しました。

その間、あの未曾有の阪神・淡路大震災に被災し文字
通りの存亡の危機にも瀕しましたが、全教職員は一致協力
してその危機を乗り越え、見事に復興を果たすとともに、そ
の延長線上において21世紀の飛躍に向けた開学25周年・
30周年事業を展開し、大学・病院機能の更なる充実・向上
に求められる西宮キャンパス全体の施設拡充・近代化事業
を無事成し遂げることが出来ました。

そしてその後も、篠山キャンパス、先端医学研究所や看
護専門学校の開設、更には平成記念会館やPETセンター
の設置までも次々に果たしてまいりました。

し かし、周知の通り、日本の医学部・大学病院を取り
巻く経営環境は、診療報酬費の削減に始まる医療
制度改革や臨床研修必修化に端を発した医師不足・医師
偏在、7:1看護体制の導入による看護師不足など複合的な
原因によって厳しい状況におかれることになりました。この
ことは本法人として例外ではなく、特に財政の大部分を背負
う大学病院にとってはこれまでにない大きな試練となってお

ります。

その様な環境の激変の最中にありながらも、新しい時代
に即した医育機関としての基盤を更に充実・発展させるべ
く、従来の教育・研究・診療三位一体の改革・充実を同時進
行させつつ、かねてからの懸案であった総合医療大学構
想の一環として、薬学部・看護学部・リハビリテーション学部
の3学部4学科を配した兵庫医療大学を創設することにな
りました。その建学の趣旨が21世紀の医療に益々重みが
かかってくるチーム医療を推進するために必要な高質で人
間性豊かな医療専門職者の養成であることは言うまでもあ
りません。開設にあたって、財源面で若干の問題はありまし
たが、理論的な検証に基づき学内外での理解を得て、平成
19年には無事開学を果たすことが出来、今年は第4期生を
迎えるにいたるまでに順調な進展を続けてきました。

兵 庫医療大学設立は本法人創設以来の大プロジェ
クトであり、本法人の将来の発展・繁栄にとって不可
欠なものでありますが、本法人の進むべき近未来の羅針盤
とするため、平成17年に、経営企画協議会を中心とし幅広い
教職員の各層からの参画を得て「学校法人兵庫医科大学
中期事業計画」(平成18年～平成24年)を策定しました。

平成17年度までは、本法人は厳しい経営環境の下でも
一定の帰属収支差額を確保し、兵庫医療大学完成年度ま
での重い財政負担に対しても充分耐えうる資力を確保して
おりましたが、その後の経営環境の激変は予想を上回り、
残念ながら平成18年度は▲3.7億円、平成19年度は▲9.0
億円、平成20年度は▲2.0億円と3年にわたる赤字決算が

続きました。医学・医療環境の厳しさはこの社会の普遍的
な流れであり、これは本法人に限ったことではありません
が、随分と苦しい思いを強いられました。財政面以外の
数々の事業計画についても目的達成に至るには程遠い距
離がありました。しかしながら、この間の試練を真摯に受け
止め、ひるむことのなかった姿勢は、本法人全体を奮起さ
せ、ポジティブな方向に掉さしてくれました。中期事業計画
との乖離の中で大いに苦しみながらも、全教職員の知力を
集結し、多くの体験を血とし肉として意識改革・組織改革を
推し進めることにより、前途に明るい光が確実に差し込み
始めました。

例 えば、第103回医師国家試験結果では104人の新
卒者の合格率100%、既卒者を含めても96.6%とい
う中期事業計画の目標を大幅に超えました。研究面におい
ても文科省の科学研究費の獲得実績が関西の公私立医
科大学間で第2位を占めたことはその内容の充実振りを如
実に物語っているといえるでしょう。また、学内外に向けて最
新情報を発信する広報活動も生れ変わったように活発になっ
てまいりました。

ここ3年間にわたって憂慮された大学病院の収支状況
も、新しい病院執行部の大胆なリーダーシップのもと、様々
な角度からの綿密な改善策が効を奏し、心強い回復基調
を取り戻しつつあります。長いトンネルの出口がやっと見えて
きた気がいたしますが、これらに現在整備作業が進められ
ている物流センターや情報センターの機能が加われば、当
初の事業目標に向けての歩調が更に加速されることになる
でしょう。

他 方、長年赤字経営から脱却できず、国からの経営移譲
10年目で存続が困難と考えられていた篠山病院は、兵
庫県や篠山市からの強い要望への共感や、社会の公器として
の使命感に促されて存続が決まり、「兵庫医科大学ささやま医
療センター」として今年5月に再出発することになりました。

その運営面では県や市からは応分の運営費補助と救急
補助が交付されることが決定されており、ようやく独立採算

による健全経営への道が開かれることになりました。

こ のように本法人全体の状況はようやく上昇局面に
入ってまいりましたが、ここで再度、初心に帰り3年前
に策定した中期事業計画を見直し、本年から始まる後半3年
間で目標の達成に全力をあげていきたいと思っています。

これまでも幾多の困難を乗り越え「為せば成る」という実
績に基づいた自信を積み上げてきた本学は、必ずや厳しい
社会情勢の中にあっても発展・繁栄への道を歩き続けるこ
とができるでしょう。

現 在、中期事業計画の具体的な進捗状況について
は、経営企画室を中心とした中期事業計画検討委
員会において総点検が行われ、後半に向けての見直し作
業が行われていますが、本年は事業の中間点にあたる重
要な年であるばかりではなく、かねてからの念願の西宮キャン
パス再開発計画こうし構想の嚆矢としての11号館建設に着手
する時機と考えています。そこには救命救急センター、手術
室、CCUやICU等を集約して、急性期医療の要の機能を
持たせるとともに、国からの補助金による免震化を図り、地
域の災害拠点病院としての環境整備の強化に力点を置いて
いくことになります。他方、神戸キャンパスの看護学部、リ
ハビリテーション学部が完成年度を迎えるにあたり、それぞ
れの大学院設置も推し進めてまいります。

こ の一年、山積する数々の新しい課題に向かって果
敢に挑戦していくことになりますが、これまで共にしんかん砥
めてきた辛艱を糧にしながら、連帯感で心を結んで力をあ
わせ、山の彼方の空遠くに住む幸いを求めて面(おもて)を
上げつつ前進していこうというこの切実な気持ちを皆様にお
伝えして、新年のご挨拶といたします。

なお、ご祝儀として、江戸後期の米沢藩主 上杉鷹山の
有名な言葉を付記しておきます。
「為せば成る 為さねばならぬ 何事も、成らぬは人の為
さぬなりけり」

平成22年 年頭メッセージ



明日への課題

兵庫医科大学 学長 | 波田 壽一

皆さん明けましておめでとうございます。平成22年が皆様にとり幸多い良い年になることを祈念致しております。

振り返ってみますと昨年(平成21年)は本学にとりまして大変明るいニュースが多い年であったと思います。2月に行われた第103回の医師国家試験で新卒業生104名が全員合格するという快挙をなしとげてくれました。また、研究に関しては、研究力の一つの指標を科学研究費の取得状況でみることができます。それで見ますと、私立医科大学(医学部を含む)が29あり、この中で単科の医科大学と医学部と他に1学部(例えば看護学部)を持つ大学を合せると16大学になりますが、この中では本学が科学研究費の取得額は第1位であります。また診療面では、昨年8月に発行された「週刊ダイヤモンド」の8月15・22日号の「頼れる病院 消える病院」という特集号で本学病院は兵庫県下では第1位にランクされています。

このように教育、研究、診療のいずれの面でも兵庫医科大学は教職員の皆さんのご尽力で立派な大学に成長しておりますが、今後の更なる飛躍のためには、いくつかの課題があります。教育面では低学力学生の支援を強化する必要があります。私は学長就任時に新卒業生の医師国家試験の合格率を95%以上にすることを目標に掲げましたが、同時に留年生を一学年10名以内にすることも併せて目標にしています。この目標をこれから達成する努力が必要です。研究面では確かに科学研究費の取得額は多いのでありますが、件数になりますと前述の16大学中6位になり、件数を増やすことを目指さねばなりません。診療面では収益力の強化が最大の課題ではないかと思ひます。これは大学全体の財務力の強化に直接大きく影響する事項であり、今本学の最重要課題だと認識しております。

本学は年々大きく前進し、発展しておりますが、今後の更なる飛躍のためには乗り越えていくべき課題も明らかになっておりますので、全教職員の一致した努力で必ず解決できると確信しております。

今年も引き続き全教職員の皆さんのご支援、ご協力をお願い致します。

充実の年へ

兵庫医療大学 学長 | 松田 暉



新しい年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

兵庫医療大学は早いものでこの4月に開学4年目を迎えます。本学は開学以来3学部が連携し、医学部ともボーダレスな教育環境のもと、これからのチーム医療を担う医療専門職者を育てるべく教職員一堂頑張ってきました。この4月には看護学部とリハビリテーション学部の一期生が最終学年となり、来春には卒業、国家試験、就職という大きな節目を迎えます。即ち、二学部は完成年度を迎えるわけであります。これまでの我々の教育理念やその実践がどういう成果を上げ、また評価されるか、身が引き締まる思いであります。本年も、学生教育において一層きめ細かな指導とともに、将来への高い希望を持たせるよう配慮が必要と思っております。

薬学部についてははいよいよ共用試験の年を迎えます。これは、OSCE(客観的臨床能力試験)とCBT(computer based testing)よりなる、翌年度の病院と薬局実習への事前試験であります。薬学部一期生にははいよいよ将来の薬剤師への道が近づいてきたという実感が出てくるでしょう。

全学に共通することですが、将来の就職を支援する意味でも昨年オープンしたキャリアデザインセンターの役割が大事になります。皆様にもこのセンターを気軽に利用していただければ有り難いと思っております。

一方、22年度は大学院修士課程設置の申請の年になります。看護学部とリハビリテーション学部、それに共通教育センターが相乗りした格好で計画を進めています。本学のミッションにあった一歩進んだ臨床実践的能力をもった人材を育成しようとしていますので、期待して頂きたいと思ひます。学部教育はもとより、大学院教育におきましても、兵庫医科大学関係の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いする次第です。

皆様にはこれまで以上のご支援、ご指導をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「寅年」の篠山病院

兵庫医科大学篠山病院 病院長 | 福田 能啓



明けましておめでとうございます。

今年は2010年「寅年」で、「庚寅」の年ようです。「庚」の字は「強直・先鋭」を意味するそうで、ひたすら突き進む年になりそうです。「寅」の字は、神に供える「矢」の曲がりを直すために両手を添えている形であり、「曲がったことがなく」「慎んでいる」状態を意味していると書いてありました。「寅」に「さんずい」を付ければ「水が流れ、道を拓くように新しいことをはじめる」意味をもつ「演」の字になります。篠山病院は「寅年」の6月に、「新しいことを始める」を意味する「演」の字の如くに、新しく「兵庫医科大学ささやま医療センター」として生まれ変わります。御支援をいただきました皆様方へのこの場を借りて感謝申し上げます。

千里を走る虎は難関を一気に突破する力を持っているといひます。「虎穴」や「虎口」を怖れていては、新たに開ける未来に進むことができません。虫が「寅」になると「蟪(ミミズ)」を意味するようです。土塊をかみしめ滋養に富んだ「大地」を創り出せば、草木は生育し、花が咲き、果実が実ようになります。ささやま医療センターも「患者さんありき」の医療を実践し、「蟪(ミミズ)」のような粘り強さで地域医療を担って行きたいと考えています。

「庚寅」は、曲がったことなくまっすぐに突き進む意であり、常に新しいことを考えつづける年であるとも言えます。社会の進歩を何より願ひ「我思う故に我あり」の言葉を残したデカルトの考え方はまさに「庚寅」であるといひます。「明証・分析・総合・枚举および吟味」により、間違いをなくす努力をしつづけたデカルトを新年にあたって読み返してみたいと思ひます。皆様にとって、よりよき一年になることを祈念申し上げます。



病院経営に全員参加を!

兵庫医科大学病院 病院長 | 太城 力良

学校法人兵庫医科大学の教職員および関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の兵庫医科大学病院での一番大きな出来事と言えば、実に15年ぶりに厚生労働省、近畿厚生局、兵庫県による特定共同指導を受けたことです(平成21年10月3日に正式通知がきて、同月29、30日に実施)。この指導の目的は、「保険医療機関及び保険医療養担当規則」などをよく理解し、保険診療の質的向上および適正化を図ることを目的としています。指導にて問題を指摘された項目については保険金の自主返還を迫られ、さらに重要な問題があれば指導が監査になり、最悪の場合は保険医療機関の指定を取り消される可能性がある訳です。幸い本学では病院教職員が日常より保険診療に心掛け、指導前の準備にもご協力いただいたお陰で高額な自主返還は免れそうでございます(交渉中)。誌面を借りて御礼申し上げます。

新年の秋には、病院機能評価Ver.6を受審予定です。ここでは、さらに医療の質や安全に対する体制が細かくチェックされます。自分自身を省みて、所属部署、病院全体を再点検し、よりよい病院にしていける努力をお願いしたく存じます。また、保険診療を適切に行う時に、包括医療の概念をしっかりと頭に入れて、保険適応があるかないかだけでなく、包括部分ではいかに医療経費を削減できるかが大きく病院経営に関わり、経営基盤の充実こそが病院の変革の原資となることをご理解の上、診療やケアを行っていただきたいと考えています。すなわちすべての教職員が経営参加している気持ちを持っていただきたいと思ひます。

「心して学ばざる身の悲しさよ、事起きて知る法の厳しさ」とならないように、各自が心を新たに向上心、勉学意欲をもち、思いやる心を持って働ける職場作りに、頑張りましょう! また、基本設計が始まった11号館(仮称)の構築に皆さんの叡智を統合して下さい。本年も、病院運営にご理解、ご協力のほど、心よりお願い申し上げます。

最近の主な出来事

10月 October

7	兵庫医科大学病院	市民健康講座	第3会議室において、内科 肝・胆・膵科 西口 修平主任教授が「肝炎ウイルス対策の最新情報」をテーマに講演を行いました。
8	兵庫医療大学	第2回仕事研究セミナー	「私の仕事～MR女史のため息～」 →P19をご覧ください。
9	兵庫医科大学	天津医科大学との国際交流シンポジウム	本学と「学術交流に関する協定」を締結している天津医科大学から王 主任教授、謝 主任医師の2名をお招きして開催しました。9－2講義室において、増山 理主任教授(内科学 循環器内科)の司会で進められ、理事長、学長の挨拶に続いて、下記の講演が行われました。 SessionI:Basic Research 座長:中西 憲司主任教授(兵庫医科大学 免疫学・医動物学) ①善本 知広研究所教授(兵庫医科大学 先端医学研究所(アレルギー・疾患研究部門)) ②戴 毅准教授(兵庫医療大学 薬学部) SessionII:Clinical Research 座長:三輪 洋人主任教授(兵庫医科大学 内科学 上部消化管科) ①渡 二郎准教授(兵庫医科大学 内科学 上部消化管科) ②王 邦茂主任教授(天津医科大学 消化内科) SessionIII:Clinical Research 座長:松本 譽之主任教授(兵庫医科大学 内科学 下部消化管科) ①福永 健助教(兵庫医科大学 内科学 下部消化管科) ②謝 肄聡主任医師(天津医科大学 中医科)
10	兵庫医療大学	「ボーアイ4大学による連携事業」公開講座	M302基礎看護学実習室(M棟3階)において、「家庭で役立つ看護技術」をテーマに看護学部 竹田 千佐子教授が講演を行いました。
10・11	兵庫医療大学	海鼻祭(大学祭)	→P15をご覧ください。
14	学校法人兵庫医科大学	本学利益相反マネジメントに関する講演会	→P20をご覧ください。
	学校法人兵庫医科大学	第5回篠山物産展 主催:有限会社クリエイトささやま 協賛:篠山市、学校法人兵庫医科大学	午前11時から1号館前(西側)において開催され、黒枝豆、新米、秋野菜、黒豆各種加工品などの丹波篠山の特産物が販売されました。
20	兵庫医科大学	篤志解剖体慰霊祭	→P11をご覧ください。
21	兵庫医科大学病院	市民健康講座	第3会議室において、歯科口腔外科 高岡 一樹助教が「歯科インプラント」をテーマに講演を行いました。
22	学校法人兵庫医科大学	第6回篠山物産展 主催:有限会社クリエイトささやま 協賛:篠山市、学校法人兵庫医科大学	10月14日と同様に、丹波篠山の特産物が販売されました。
27	学校法人兵庫医科大学	自衛消防訓練	→P21をご覧ください。
29・30	兵庫医科大学病院	特定共同指導	2日間にわたり、厚生労働省による特定共同指導が実施されました。
30	兵庫医科大学	知的財産セミナー	4－1講義室において、山口大学 知的財産部門長 佐田 洋一郎教授に「研究ノートと知的財産～あなたを守る研究ノートの正しい活用法～」という演題にてご講演いただきました。

11月 November

4	兵庫医科大学病院	市民健康講座	第3会議室において、リウマチ・膠原病科 北野 将康助教が「関節リウマチについて」をテーマに講演を行いました。
5	兵庫医療大学	「ボーアイ4大学による連携事業」ワークショップ	M棟4階487会議室において、京都大学総合博物館 塩瀬 隆之准教授を講師にお迎えして、「[薬を開けて飲む]をデザインする」をテーマにボーアイ健康・生活支援ステーションが第2回ユーザー参加型医療デザインワークショップを開催しました。
	兵庫医療大学	第3回仕事研究セミナー	「私の仕事～記者から医療現場へ～」 →P19をご覧ください。



天津医科大学との国際交流シンポジウム



10月10日公開講座



篠山物産展



篠山物産展



10月21日市民健康講座



知的財産セミナー



11月4日市民健康講座



ユーザー参加型医療デザインワークショップ

6	篠山病院	消防訓練	13時30分から篠山病院第5病棟で14時からささやま老人保健施設において、消防訓練を実施しました。
7	兵庫医療大学	「ボーアイ4大学による連携事業」公開講座	「療養を支える 一瞬下降害との上手なおつきあい」をテーマにリハビリテーション学部 理学療法学科の野崎 園子教授が講演を行いました。
	兵庫医科大学病院	第6回兵庫医科大学病院 病診・病病連携の会	3－1講義室において、地域医療機関から52名、本学から47名の総勢99名が参加し、下記のテーマで発表が行われ、その後、10号館10階レストラン「リビエール」において懇親会が行われました。 テーマ1 産科婦人科 小森 慎二主任教授 「子宮癌・卵巣癌の治療の現状」 テーマ2 内科 下部消化管科 福永 健助教 「患者QOL向上を目指した当院における潰瘍性大腸炎患者の治療方策:外科－内科のseamless connectionを生かして」
9	兵庫医科大学病院	トライやる・ウィーク	兵庫県下の公立中学二年生が1週間にわたって、地域社会の一員としてさまざまな職場体験を行うもので、伊丹市立松崎中学校の男子学生2名が、10－5病棟で配膳や移送、環境整備などを体験しました。「医師を目指している」「以前に入院したことがあり、医師や看護師の働く様子に関心がある」といった理由で本学病院での体験実習を選びました。二人は「患者さんに不快な思いをさせないよう言葉使いや振る舞いに注意した」「配膳する時に間違えないように何度もプレートの名前を確認した」など、緊張や難しさも感じたようですが、楽しく、元気に色々な仕事に挑戦していました。
10・12	兵庫医療大学	学生相談室イベント	→P9をご覧ください。
14	兵庫医療大学	平成22年度推薦入学試験<専願制>	(11月26日合格発表) →P14をご覧ください。
15	兵庫医科大学	平成22年度推薦入学試験	(11月24日合格発表) →P10をご覧ください。
	兵庫医療大学	平成22年度推薦入学試験<併願制A日程>	(11月26日合格発表) →P14をご覧ください。
17	兵庫医科大学病院	医療監視	医療監視が実施されました。
18	兵庫医科大学病院	市民健康講座	第3会議室において、整形外科 藤岡 宏幸助教が「中高齢者に多いケガ」をテーマに講演を行いました。
21・22	兵庫医科大学	醫聖祭(大学祭)	→P7をご覧ください。
27	学校法人兵庫医科大学	学校法人兵庫医科大学連携病院の会	→P22をご覧ください。
28	兵庫医科大学	第7回 全国遺伝子医療部門連絡会議	第2会議室において総会が行われた後、3－3講義室において連絡会議が開催されました。今回は臨床遺伝部・遺伝学の玉置主任教授が大会長を務め、基調講演「医学教育改革の動向」や、講演「e-ラーニングシステム『一歩一歩学ぶ生命科学』による医学初学者への情報伝達」、「日本の遺伝医学教育の問題点と対策」、ワークショップなどが行われました。



篠山病院消防訓練



老人保健施設消防訓練



11月7日公開講座



病診・病病連携の会



トライやる・ウィーク



11月18日 市民健康講座



第7回 全国遺伝子医療部門連絡会議

TOPICS 12/8 兵庫医療大学 クリスマスイルミネーション 点灯

学生会、大学行事実行委員会主催によるクリスマスイルミネーション点灯式が開催されました。松田学長と学生会代表によるツリー点灯の後、12月1日(火)～12月8日(火)に開催された「第1回兵庫医療大学スポーツ大会」の表彰式も行われました。

イルミネーションが輝く中、サンタクロースに扮した学生からお菓子のプレゼントが配られ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



平成21年11月21日(土)、22日(日) 第38回兵庫医科大学 大学祭「醫聖祭」

第1日は晴天、第2日はあいにくの雨となりましたが、中庭ステージ企画や、医学講演会、模擬店、バザー、軽音ライブなど、多くの催しが行われました。「インフルエンザ」をテーマとした解剖展示、心肺蘇生法やAEDの体験なども実施した医療器具展示、禁煙促進、乳がん撲滅・健診啓発キャンペーンなど、医学部ならではの企画も多く、来場者の関心も高かったようです。

「∞～無限～」

今年のテーマには「この醫聖祭を通じて自分の中にある大いなる可能性を自覚し、普段作ってしまっている“限界”や“自分の殻”を打ち破って、今後の学生生活でも、色々なことに挑戦していってもらいたい」といった願いが込められています。



医療器具展示

医療器具や人体模型などに触れてもらい、医学・医療への関心を深めていただきました。



「心肺蘇生法を体験されませんか？私たちは少しでも多くの方に知っていただきたいと思っています」と来場者に声をかける学生。

解剖室展示・チュートリアル展示



「インフルエンザ」をテーマに、ウイルスの特徴、感染経路、治療法、予防法などをメインに紹介。季節性・新型いずれも流行しつつあるインフルエンザの予防に役立ててもらいました。



リアル実験コーナーも大人気でした。



1年生のチュートリアル教育の成果を発表。グループ毎に医学・医療に関係したテーマを選び、数週間かけてまとめました。テーマは「ボツリヌス菌について」「ES細胞とiPS細胞の臨床応用への可能性」「アスベスト」など(一部)。

特設ブース



乳がん撲滅・健診啓発キャンペーン

自己触診キットで“しこり”の大きさや堅さを体験してもらい、「早期発見・早期診断・早期治療」の大切さを伝えました。

禁煙促進

さまざまな資料を用意して、タバコの害の怖さを知ってもらい、禁煙を呼びかけました。

医学講演会 (11月22日)

～運動と健康～ 「私の野球人生から…」

元オリックス・バファローズGMの中村 勝広さんに、選手、監督、GM時代など豊富な経験談や、スポーツを通じての健康維持・改善方法などについてお話いただきました。



野外ステージ・各種イベント

野外ステージでは、兵医カップ(記憶絵心クイズ！、ミスター、フィーリングカップル、カラオケ大会)、MISSコンテスト、ベストカップルコンテスト、空手部演舞、SUNSET PREMIUM(軽音ライブ)、STREET DANCE、お笑いライブ、ビンゴ大会などが開催されました。2号館4階チュートリアル室ではフリーマーケットが開かれました。



舞台裏から見守るスタッフ

模擬店

インフルエンザ対策として、模擬店での接客は手洗い消毒やマスク着用を義務づけて行いました。



バザー



今年も大盛況でした。ご協力ありがとうございました！

秋期教員・保護者懇談会

11月21日(土)15時から平成記念会館大講堂で開催しました。卒後臨床研修センター 芳川 浩男センター長による「変革期を迎えた新卒後臨床研修制度」と、感染制御部 中嶋 一彦助教による「インフルエンザ対策」の講演が行われました。



懇親会(園遊会と統合)

11月21日(土)17時から平成記念会館アリーナで開催しました。学生部長賞の授与、学生部委員と教務委員の紹介、室内楽団による演奏やダンス部のパフォーマンスなどが行われました。



学生部長賞授与(詳細はP9)



写真部展示



美術部展示



右上は新理事長の作品

軽音ライブ



|大学祭を終えて

第38回大学祭実行委員会 委員長
第2学年次

大西 政彰

11月21日、22日の二日間にわたり、第38回兵庫医科大学 大学祭「醫聖祭」を開催致しました。残念ながら22日の午後から雨が降ったものの、たいへん充実した大学祭を行うことができました。

今年の6月に大学祭実行委員会が結成され、「∞～無限～」をスローガンにかかげ、無限の楽しさを追求しようと、大学祭開催までその内容を企画検討してまいりました。

2日目の午後から天気予報通りの雨。各クラブによるパフォーマンスやカラオケ大会はあいにくの雨の中で行われましたが、大盛り上がりで、出場者は一生懸命練習した歌とダンスを披露しました。

がむしゃらに駆け抜けたこの数カ月、私たちは「大学祭の成功」を目標に、時には口論にもなりましたが協力して準備しました。皆が大学祭が終了した後に流した涙はこれまでの辛さ、雨の中無事に終えることができた嬉しさ、友情…すべてを物語っていました。

最後になりましたが、今回の大学祭開催にあたり、多大なるご支援・ご協力をしていただいた理事長・学長・病院長・学生部長をはじめとした先生方、後援会や緑樹会の方々、私たちを最初から最後まで色々な面で支えてくださった教務学生課の方々、また学祭を企画する上で多数、ご指導くださった先輩方、大学祭を行うにあたり、様々なご協力をしていただいた関係者の方々に、大学祭実行委員一同、心より厚く御礼申し上げます。

実行委員のみんな、本当にありがとう！



中央で委員に囲まれているのが大西さん



パンフレット作成



第38回大学祭実行委員



「∞～無限～」ステージパネル製作



手型のスタンプで「∞」を作ります

|学生部長賞 授与

平成21年度の課外活動において、優秀な成績を残した個人と団体、そして社会貢献活動を行った団体に贈られました。
(平成21年11月21日、平成記念会館で開催された第38回兵庫医科大学大学祭「醫聖祭」園遊会にて授与)



③剣道部 木俣 米一さん(1年)



④競技スキー部 西村 英里さん(2年)



⑤準硬式野球部



⑥バドミントン部 男子団体



⑦軟式庭球部 今本 千絵さん(4年)



⑧アーチェリー部 男子団体



⑨アーチェリー部 竹内 真理子さん(1年)



⑩ボランティア部



①合気道部 小森 友紀子さん(4年)



②合気道部 三好 晶雄さん(4年)

平成22年度 兵庫医科大学 医学部入学試験 速報

推薦入学試験結果

一般公募制推薦入学試験

試験日：平成21年11月15日(日)

試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書

合格発表日：平成21年11月24日(火)

募集人員	約15名
志願者	63名(39名)
受験者	63名(39名)
合格者	15名(13名)
実質競争倍率	4.2倍

地域指定推薦入学試験

試験日：平成21年11月15日(日)

試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書

合格発表日：平成21年11月24日(火)

募集人員	5名以内
志願者	12名(6名)
受験者	12名(6名)
合格者	4名(2名)
実質競争倍率	3倍

注)この選抜では、地域医療に貢献する強い意志と適性等を評価するため、合格者が募集人員に満たない場合がある。その場合、欠員は一般入学試験の募集人員に加える。

実質競争倍率は
「受験者／合格者」
()内は、女子・内数

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります！

一般入学試験

募集人員	約80名
試験科目	第1次試験：数学(150点)、外国語(150点)、理科(2科目選択)(200点) 第2次試験：小論文(100点)、面接
出願期間	平成21年12月14日(月)～平成22年1月19日(火) 消印有効
試験期日	第1次試験：平成22年1月27日(水) 第2次試験：平成22年2月6日(土)または7日(日)(希望日を出願時に選択)
試験場	第1次試験 大阪会場：インテックス大阪／東京会場：フォーラム8／福岡会場：福岡商工会議所 第2次試験 兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成22年2月4日(木) 第2次試験：平成22年2月15日(月)

※詳細はホームページ・学生募集要項でご確認ください。

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	10名
試験科目	第1次試験：大学入試センター試験 国語(近代以降の文章のみ)、数学(数学I・数学A、数学II・数学B)、理科(生物I、物理I、化学Iのうち2科目選択)、英語(リスニングを含む) 第2次試験：面接
出願期間	平成21年12月14日(月)～平成22年1月15日(金) 消印有効
試験期日	第1次試験：大学入試センター試験日 平成22年1月16日(土)、17日(日) 第2次試験：平成22年2月20日(土)
試験場	第1次試験：大学入試センターが指定する試験会場 第2次試験：兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成22年2月15日(月) 第2次試験：平成22年2月24日(水)

平成22年度 兵庫医科大学 大学院入学試験 速報

前期入学試験結果

医学研究科入学試験(前期募集)

試験日：平成21年9月18日(金)

試験場：兵庫医科大学

選考方法：外国語試験、面接

合格発表：平成21年10月2日(金)

受験者数	9名
合格者数	9名

これから始まります！

医学研究科入学試験(後期募集)

出願期間	後期：平成22年1月25日(月)～2月6日(土)
試験期日	後期：平成22年2月19日(金)
試験場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接(担当教授との面接が終了している場合には免除することがある)
合格発表	後期：平成22年3月12日(金)

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第56回)

出願期間	第56回：平成22年1月25日(月)～2月6日(土)
試験期日	第56回：平成22年2月19日(金)
試験場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	第56回：平成22年3月12日(金)

※詳細はホームページ・学生募集要項でご確認ください。

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第55回)

試験日：平成21年9月18日(金)

試験場：兵庫医科大学

選考方法：外国語試験

合格発表：平成21年10月2日(金)

受験者数	7名
合格者数	5名

医学研究科入学試験(本学教員)

出願期間	募集要項配布時～平成22年2月6日(土)(随時受付)
試験期日 試験場	指導教授の指示した日時及び場所を実施する
選考方法	①外国語試験 ②面接
合格発表	研究科教授会において承認された翌日

|平成21年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭

平成21年10月20日(火)平成記念会館において、篤志解剖体慰霊祭が執り行われました。医学教育・研究及び医療の進歩と発展のために、自らのご遺体を捧げられた方々を祭祀するため、本学では毎年10月第3火曜日に無宗旨形式で執り行っております。

本年度は平成20年10月1日から平成21年9月30日までの間にその身を解剖に捧げられた、系統解剖66柱、病理解剖37柱のあわせて103柱のご霊位を祭祀させていただきました。

式のご霊位の奉読に始まり、全員黙祷に続いて波田学長、太城病院長、解剖教室代表の関主任教授による慰霊の詞のあと、西宮市長から弔辞の詞をいただき、次いで学生代表の第2学年次 中川 頌子さんによる謝意の詞が述べられました。引き続いて、故人のご冥福をお祈りして参列者全員による献花が行われ、本学教職員並びに学生は、ご霊位に対し医学・医療の向上に寄与することを誓いました。

ここに、あらためて全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様への深いご理解に対し、心から御礼申し上げます。



|中国の汕頭大学医学院留学を終えて

第5学年次 | 中野 真依

平成21年9月21日～27日の1週間、李財団の支援を受け、中国の汕頭大学医学院に留学させていただきました。このプログラムが本学で初めてのものであることや、私自身が中国に行くのが初めてということもあり、出発前はとても不安でした。しかし、そのような不安も、汕頭の空港で兵庫医科大学への留学経験を持たれる先生方に日本語で迎えていただいた時には、これから始まることを楽しみに思う気持ちに変化していました。

今回、支援いただいた李財団は、設立者の李嘉誠さんの①医療人の育成②口唇口蓋裂の子供達への支援③白内障の方への支援④医療ボランティア活動という4つの理念をもとに、中国全土にわたりたくさんの施設やさまざまな活動を提供されている財団で、②から④は全て無料で提供されています。

私達は李さんが設立された汕頭大学、汕頭第一・第二病院、白内障センター、口唇口蓋裂センターの見学と医療ボランティアへの参加をさせていただきました。第一日目の病院見学から、日本との違いに驚かされました。人口が世界一ということもあり産科病棟では廊下までベッドが溢れており、病棟に入るのにも人数制限している程でした。また口唇口蓋裂センターの術後サポートの重要性には中国語の発音の難しさが関わっているのではないかと感じました。というのも「中国内での“方言”は日本語のように少し語尾が違うという程度ではなく、『外国語か?』という程に違いがあるのですよ」と先生方がおっしゃっていたからです。そのようなさまざまな言葉が行き交う国で、コミュニケーションが重要な“医師”という仕事をされている先生方に、日本の先生方に対するものとは別の、尊敬の念が生まれました。医療ボランティアの参加からは「医療を提供する心になんの隔たりもない」ということを実感させられました。

今回の留学を通して、ここには表現しきれない程のたくさんの経験をすることができ、改めて自分の肌で異文化に触れることの大切さを感じました。年齢や時間的な余裕から考えても、異文化に触れていろいろな感情を抱き、たくさんのことを吸収して柔軟な考えを持てるようになるためには、学生時代がBESTではないかと思えます。私自身も、今回の経験を生かして、これからもできる限りいろいろなことに挑戦していきたいと思えます。このような機会を作っていただいた学長先生をはじめ諸先生方と、事務の方々、そして快く送り出してくれた両親に心から感謝しております。本当にありがとうございました。



口唇口蓋裂センター正面



医療ボランティアが行われた学校



学生の病院実習に参加

|クロアチア共和国リエカ大学医学部 交換留学

兵庫医科大学とリエカ大学医学部は平成19年に「学術交流に関する協定」を締結しており、平成20年度から交換留学を行っています。本年度は第5学年次の木島 和也さん、南園 京子さん、山崎 真理恵さんが8月31日から9月25日までリエカ大学に留学しました。整形外科、産科婦人科、内科で実習を行い、帰国後、波田学長、増山国際交流センター長や将来留学や海外での活躍を希望する下級生の参加のもと、学内報告会を行いました。また、リエカ大学からIvan Bunjevacさん、Tomaž Špindlerさん、Eva Pasiniさんが来日し、10月5日から10月30日まで産科婦人科、歯科口腔外科、小児科で実習を行いました。



木島さん、Ivanさん、Tomažさん、新家理事長、古瀬准教授、Evaさん、南園さん、山崎さん
(10月5日理事長室)

クロアチア共和国リエカ大学医学部交換留学を終えて

第5学年次 | 木島 和也

今回、クロアチア第3の都市リエカの近郊にあるロブラン整形外科病院で1ヵ月間、実習をさせていただきました。クロアチアという国は九州の1.5倍程の大きさ、人口も450万人と大阪の半分程しかありません。しかし、世界遺産が非常に多く、どこへ行ってもきれいな場所ばかりで、週末には様々な観光地を訪れ、またボスニア・ヘルツェゴビナへ行く事も出来ました。人は皆とてもフレンドリーで、見知らぬ私達に多くの人が話しかけてくれました。治安も1995年まで戦争をしていた国とは思えぬほど良かったです。

実習内容としては、若手の先生についての手術・処置見学が中心で、後半には実際に手術のアシストや処置をさせていただきました。医療に関して言うと、日本とあまり変わらないというのが第一印象でした。しかし医療機器に関してはあまり充実していない様に感じました。具体的に言えば整形外科病院で有している診断機器はレントゲンのみで、CT/MRIが必要な場合は車で30分程離れたリエカの病院まで行かないといけないということでした。

クロアチアでは1ヵ月間リエカ大学の学生寮に滞在し、向こうの大学生と同じ生活を送りました。また先生の計らいにより日本でもラグビー部に所属している私のために、週に2回ラグビーチームに混ざって練習させていただきました。このような旅行では決して味わえない楽しみや苦勞を味わえたことも今となってはとてもいい経験になっています。

今回のプログラムを通しての1番の感想は、本当に貴重な体験をさせていただいたという事でした。具体的には、何よりも多くの友人ができた事、そして異国の人の生活や考え方を垣間見ることができた事、医療に限らず“日本”という国の偉大さに気付かされた事、本当にたくさんの人に支えられて生きているのだと実感できた事、など言い出せばきりがありません。

最後に、今回このようなチャンスを与えていただき、とても感謝しています。そしてこのようなチャンスをより多くの学生が得ることができればと願っています。



ロブラン整形外科病院



街の風景

リエカ大学の学生たちは診療科での実習に加えて、PETセンター見学、クラブ活動(剣道部)などを体験しました。更に、兵庫医療大学を訪れ、生薬の標本・実習室見学、煎じ薬の体験、薬草園見学などを行い、東洋医学についても学びました。来日直後のウェルカムパーティーや帰国前日のフェアウェルパーティー、週末の観光などでも、本学教員・学生との活発な交流が見られました。



薬草園見学



煎じ薬体験



PETセンターで画像診断の見学